文教委員会資料②

- 1 令和7年第1回定例会追加議案の説明
- (2) 議案第88号 川崎市保育園条例の一部を改正する条例の制定について
- (3) 議案第89号 川崎市保育・子育て総合支援センター条例の一部を改正する条例の制定 について

資料1 川崎市保育園条例の一部を改正する条例新旧対照表

資料 2 川崎市保育・子育て総合支援センター条例の一部を改正する条例新旧対照表

こども未来局

(令和7年3月5日)

改正後			改正前
○川崎市保育園条例		○川崎市保育園条例	
	昭和28年5月30日条例第32号		昭和28年5月30日条例第32号
(目的)		(目的)	

|第1条 この条例は、川崎市保育園の設置及び管理について必要な事項を定<mark>第1条 この条例は、川崎市保育園の設置及び管理について必要な事項を定</mark> めることを目的とする。

(設置、名称及び位置)

第2条 本市は、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第39条に基づき、同法第2条 本市は、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第39条に基づき、同法 第6条の3第9項第1号に規定する保育を必要とする乳児・幼児その他の 第6条の3第9項第1号に規定する保育を必要とする乳児・幼児その他の - 児童(以下「乳児・幼児等」という。)を日々保護者の下から通わせて保| - 児童(以下「乳児・幼児等」という。)を日々保護者の下から通わせて保| 育を行うため保育園を設置し、その名称及び位置を次のとおりとする。

E I フルット日田でD	
名称	位置
川崎市東小田保育園	川崎市川崎区小田5丁目14番1号
川崎市藤崎保育園	川崎市川崎区藤崎1丁目7番1号
川崎市古川保育園	川崎市幸区古川町120番地
川崎市河原町保育園	川崎市幸区河原町1番地
川崎市夢見ケ崎保育 園	川崎市幸区南加瀬3丁目4番8号
川崎市中丸子保育園	川崎市中原区中丸子1,155番地
川崎市下小田中保育 園	川崎市中原区下小田中4丁目4番17号
川崎市蟹ケ谷保育園	川崎市高津区蟹ケ谷339番地
川崎市津田山保育園	川崎市高津区下作延5丁目1番10号
川崎市梶ケ谷保育園	川崎市高津区梶ケ谷5丁目8番地2
川崎市菅生保育園	川崎市宮前区初山1丁目23番15号
川崎市中有馬保育園	川崎市宮前区有馬3丁目2番10号

めることを目的とする。

(設置、名称及び位置)

育を行うため保育園を設置し、その名称及び位置を次のとおりとする。

Ħ	を打 プたの休月園を砂	(直し、ての石が及り) 10世直を扒りこわりこりる。
	名称	位置
	川崎市東小田保育園	川崎市川崎区小田5丁目14番1号
	川崎市藤崎保育園	川崎市川崎区藤崎1丁目7番1号
	川崎市古川保育園	川崎市幸区古川町120番地
	川崎市河原町保育園	川崎市幸区河原町1番地
	川崎市夢見ケ崎保育 園	川崎市幸区南加瀬3丁目4番8号
	川崎市中丸子保育園	川崎市中原区中丸子1,155番地
	川崎市下小田中保育 園	川崎市中原区下小田中4丁目4番17号
	川崎市蟹ケ谷保育園	川崎市高津区蟹ケ谷339番地
	川崎市津田山保育園	川崎市高津区下作延5丁目1番10号
	川崎市梶ケ谷保育園	川崎市高津区梶ケ谷5丁目8番地2
	川崎市菅生保育園	川崎市宮前区初山1丁目23番15号
	川崎市中有馬保育園	川崎市宮前区有馬3丁目2番10号

改正後		
川崎市生田保育園	川崎市多摩区西生田3丁目15番10号	
川崎市菅保育園	川崎市多摩区菅1丁目5番24号	
川崎市上麻生保育園	川崎市麻生区上麻生7丁目2番35号	
川崎市高石保育園	川崎市麻生区高石1丁目14番15号	
川崎市白山保育園	川崎市麻生区白山4丁目2番1号	

(新設)

(乳児等通園支援事業)

第3条 前条に規定する保育園のうち規則で定めるものは、児童福祉法第6条の 3 第 2 3 項に規定する乳児等通園支援事業(以下「乳児等通園支援」という。) を行う。

(開所時間及び休園日)

<mark>第4条 保育園の開所時間及び休園日は、次のとおりとする。ただし、市長</mark>第3条 保育園の開所時間及び休園日は、次のとおりとする。ただし、市長 園し、若しくは臨時に休園することができる。

開所時間	午前7時30分から午後6時30分まで	
休園日	川崎市の休日を定める条例(平成元年川崎市条例第16号)	
	第1条第1項に規定する市の休日(同項第1号の規定につ	
	いては、日曜日に限る。)	

(入園制限等)

- 第5条 次に掲げる場合には、市長は、入園を拒み、又は退園させることが第4条 次に掲げる場合には、市長は、入園を拒み、又は退園させることが できる。
 - (1) 設備その他の事情により入園させる余力がないとき。
 - (2) 疾病その他の事情により他の者の保育に支障を及ぼすおそれのある (2) 疾病その他の事情により他の者の保育に支障を及ぼすおそれのある とき。
 - (3) その他管理上特に支障があると認めたとき。 (使用料)

(開所時間及び休園日)

川崎市生田保育園

川崎市白山保育園

川崎市上麻牛保育園 川崎市高石保育園

川崎市菅保育園

は、特に必要があると認めるときは、開所時間を変更し、又は休園日に開しば、特に必要があると認めるときは、開所時間を変更し、又は休園日に開 園し、若しくは臨時に休園することができる。

改正前

川崎市多摩区西生田3丁目15番10号

川崎市多摩区菅1丁目5番24号 川崎市麻生区上麻生7丁目2番35号

川崎市麻生区高石1丁目14番15号

川崎市麻生区白山4丁目2番1号

開所時間	午前7時30分から午後6時30分まで	
休園日	川崎市の休日を定める条例(平成元年川崎市条例第16号)	
	第1条第1項に規定する市の休日(同項第1号の規定につ	
	いては、日曜日に限る。)	

(入園制限等)

- できる。
- (1) 設備その他の事情により入園させる余力がないとき。
 - とき。
- (3) その他管理上特に支障があると認めたとき。 (使用料)

第6条 保育園において子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号。以下<mark>第5条 保育園において子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号。以下</mark> 「法」という。)第27条第1項に規定する特定教育・保育、法第28条第1│ 「法」という。)第27条第1項に規定する特定教育・保育、法第28条第1│

改正後

項第1号に規定する特定教育・保育、同項第2号に規定する特別利用保育、 法第59条第2号に規定する時間外保育(以下「時間外保育」という。)又 は乳児等通園支援を受けた乳児・幼児等(乳児等通園支援にあっては、児 **竜福祉法第6条の3第23項に規定する乳児又は幼児を含む。**)の保護者 しなければならない。 又は扶養義務者は、使用料を納付しなければならない。

- 2 前項の使用料は、次に掲げる額を合算した額とする。
 - 算定した額
 - 算定した額
 - (3) 法第28条第2項第2号に規定する内閣総理大臣が定める基準により (3) 法第28条第2項第2号に規定する内閣総理大臣が定める基準により 算定した額
 - (4) 時間外保育に要する費用として規則で定める額
 - (5) 乳児等通園支援に要する費用として規則で定める額 (使用料の減免)

<mark>第7条 市長は、特に必要があると認めるときは、前条第1項の使用料を減<mark>第6条 市長は、特に必要があると認めるときは、前条第1項の使用料を減</mark></mark> 額し、又は免除することができる。

(委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

改正前

項第1号に規定する特定教育・保育、同項第2号に規定する特別利用保育、 法第59条第2号に規定する時間外保育(以下「時間外保育」という。)を 受けた乳児・幼児等又はその保護者若しくは扶養義務者は、使用料を納付

- 2 前項の使用料は、次に掲げる額を合算した額とする。
- (1) 法第27条第3項第1号に規定する内閣総理大臣が定める基準により (1) 法第27条第3項第1号に規定する内閣総理大臣が定める基準により 算定した額
- (2) 法第28条第2項第1号に規定する内閣総理大臣が定める基準により (2) 法第28条第2項第1号に規定する内閣総理大臣が定める基準により 算定した額
 - 算定した額
 - (4) 時間外保育に要する費用として規則で定める額

(新設)

(使用料の減免)

額し、又は免除することができる。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

改正後

○川崎市保育・子育て総合支援センター条例

令和元年6月28日条例第12号

(事業)

- 第3条 センターは、第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。
 - (1) 子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援に関するこ と。
 - (2) 保育所、小学校その他関係機関との連携及び連絡調整に関すること。
 - (3) 保育所の職員等の資質を向上させるための講習会、研修会等の実施 に関すること。
 - 保育」という。) に関すること。
 - (5) 法第6条の3第23項に規定する乳児等通園支援事業(以下「乳児 等通園支援」という。) に関すること (規則で定めるセンターを除く。)
 - (6) 法第24条第1項の規定による保育に関すること。
 - (7) 前各号に掲げるもののほか、第1条の目的達成に必要な事業に関す ること。

(使用料)

- |第6条 センターにおいて子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号。以|第6条 センターにおいて子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号。以| 下「支援法」という。) 第27条第1項に規定する特定教育・保育、支援法 別利用保育、支援法第59条第2号に規定する時間外保育(以下「時間外保」別利用保育、支援法第59条第2号に規定する時間外保育(以下「時間外保 幼児を、乳児等通園支援にあっては法第6条の3第23項に規定する乳児 **又は幼児を含む。**) の保護者は、使用料を納付しなければならない。
- 2 前項の使用料は、次に掲げる額を合算した額とする。

改正前

○川崎市保育・子育て総合支援センター条例

令和元年6月28日条例第12号

(事業)

- |第3条 センターは、第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。
 - (1) 子育てについての相談、情報の提供、助言その他の支援に関するこ
 - (2) 保育所、小学校その他関係機関との連携及び連絡調整に関すること。
 - (3) 保育所の職員等の資質を向上させるための講習会、研修会等の実施 に関すること。
- (4) 法第6条の3第7項に規定する一時預かり事業(以下「一時預かり (4) 法第6条の3第7項に規定する一時預かり事業(以下「一時預かり 保育」という。) に関すること。
 - (5) 法第24条第1項の規定による保育に関すること。
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、第1条の目的達成に必要な事業に関す ること。

(使用料)

- 下「支援法」という。) 第27条第1項に規定する特定教育・保育、支援法 第28条第1項第1号に規定する特定教育・保育、同項第2号に規定する特 第28条第1項第1号に規定する特定教育・保育、同項第2号に規定する特 育」という。)、一時預かり保育**又は乳児等通園支援**を受けた乳児・幼児 育」という。)**又は**一時預かり保育を受けた乳児・幼児等(一時預かり保 等(一時預かり保育にあっては、法第6条の3第7項に規定する乳児又は 育にあっては、法第6条の3第7項に規定する乳児又は幼児を含む。)の 保護者は、使用料を納付しなければならない。
 - 2 前項の使用料は、次に掲げる額を合算した額とする。

改正後	改正前
(1) 支援法第27条第3項第1号に規定する内閣総理大臣が定める基準に	(1) 支援法第27条第3項第1号に規定する内閣総理大臣が定める基準に
より算定した額	より算定した額
(2) 支援法第28条第2項第1号に規定する内閣総理大臣が定める基準に	(2) 支援法第28条第2項第1号に規定する内閣総理大臣が定める基準に
より算定した額	より算定した額
(3) 支援法第28条第2項第2号に規定する内閣総理大臣が定める基準に	(3) 支援法第28条第2項第2号に規定する内閣総理大臣が定める基準に
より算定した額	より算定した額
(4) 時間外保育に要する費用として規則で定める額	(4) 時間外保育に要する費用として規則で定める額
(5) 一時預かり保育に要する費用として規則で定める額	(5) 一時預かり保育に要する費用として規則で定める額
(6) 乳児等通園支援に要する費用として規則で定める額	